

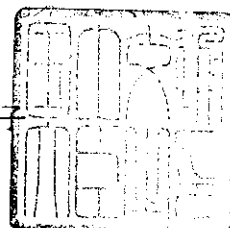
認 定 書

国住指第279号
平成13年6月11日

吉野石膏株式会社

須藤永一郎 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第一号（柱：2時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

FP120CN - 0010

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

強化せっこうボード重被覆／中空鉄骨柱

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 構造名
強化せっこうボード重被覆／中空鉄骨柱

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
断 面 形 状	ボックス型
寸 法	W422以上×H(階高による)

3. 材料構成

- 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材 (断面寸法)	H-300×300×10×15の断面寸法以上
②被覆板	強化せっこうボード ・規格 (旧)不燃 第1008号, JIS A 6901(GB-F) ・厚さ 18 _{-0.5} ~25 _{+0.5} ・大きさ 最小 455×455 (特定部位：はり型) 最大 1210×4500

2) 副構成材料

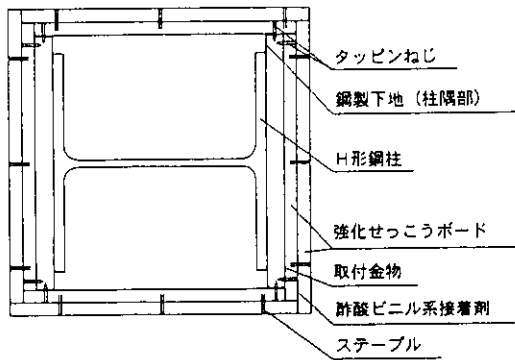
(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①タッピンねじ	JIS B 1122又はJIS B 1125に規定する防錆処理したもの 寸法：φ3.5以上×ℓ28以上、@200以下
②ステーブル	JIS B 1122又はJIS B 1125に規定する防錆処理したもの 寸法：幅4×ℓ28以上、@200以下
③鋼製下地 (柱隅部)の組み方	JIS A 6517又はJIS G 3302に規定する防錆処理したもの 形状及び寸法 1) 鋼製下地を直接又は取付金物を介して鉄骨柱に取付ける場合 L-40×40×0.5の断面寸法以上 □-50×45×0.5の断面寸法以上 □-40×25×0.5の断面寸法以上 2) 鋼製下地を上下スラブ間で支持する場合 ・ 鋼製下地 □-50×45×0.5の断面寸法以上 □-40×25×0.5の断面寸法以上 ・ 上部・下部ランナー [-25×40×0.5の断面寸法以上
④取付金物	JIS A 6517又はJIS G 3302に規定する防錆処理したもの 形状及び寸法 ・ 鋼板-100×100×0.5の断面寸法以上 ・ L-75×25×100×0.5の断面寸法以上 間隔 @910以下
⑤断熱材	・ グラスウール (旧)不燃第1031号, JIS A 6301, JIS A 9504 ・ ロックウール 告示1400号品
⑥接着剤	酢酸ビニル系、合成ゴム系、せっこう系、炭酸カルシウム系、エポキシ樹脂系、ウレタン系、アクリル系
⑦目地等処理材	せっこう系又は炭酸カルシウム系 JIS A 6914に適合するもの

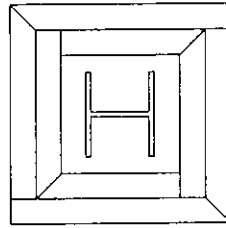
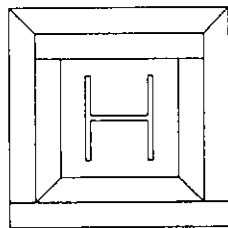
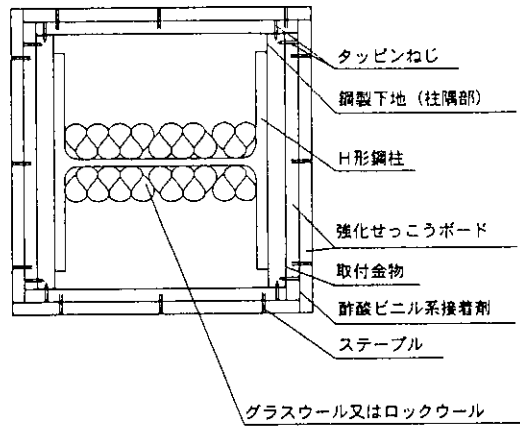
4. 構造説明図

水平断面図

・グラスウール又はロックウールを挿入しない場合



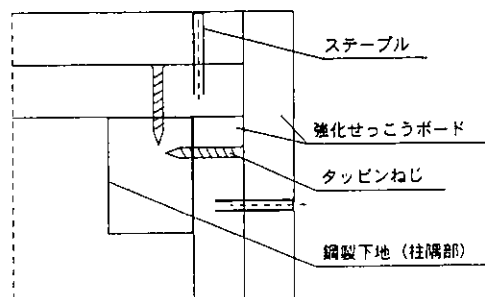
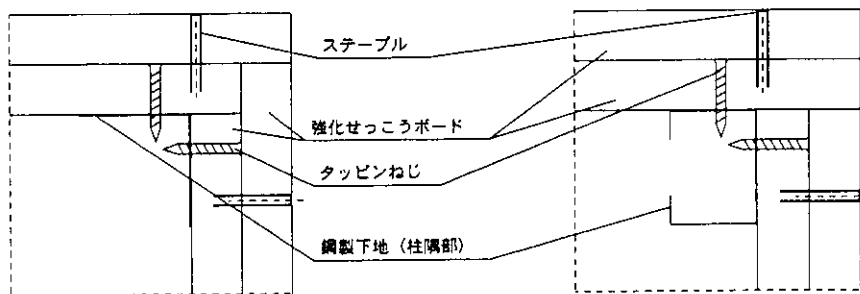
・グラスウール又はロックウールを挿入する場合 (施工例)



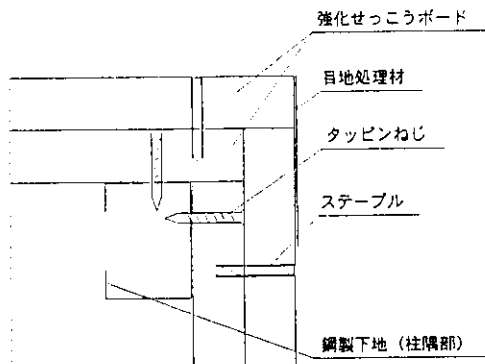
Vカットパネルの場合

詳細断面図

①強化せっこうボード隅部詳細水平断面図

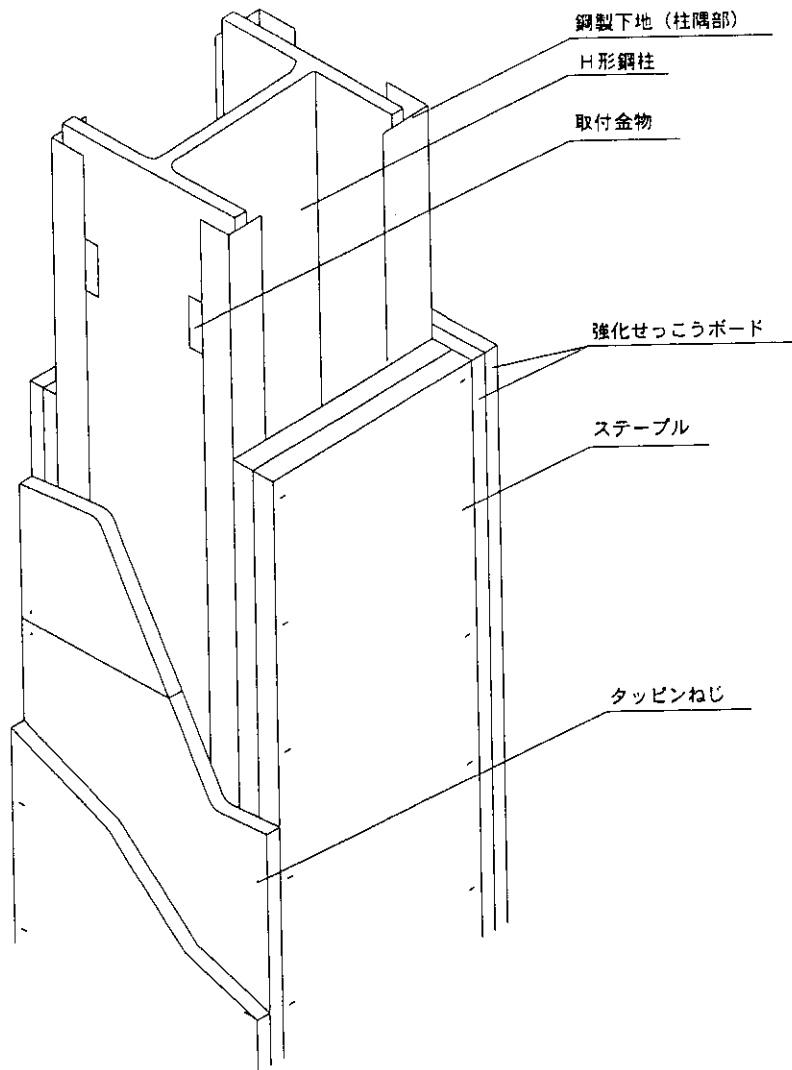


②目地処理部分詳細水平断面図

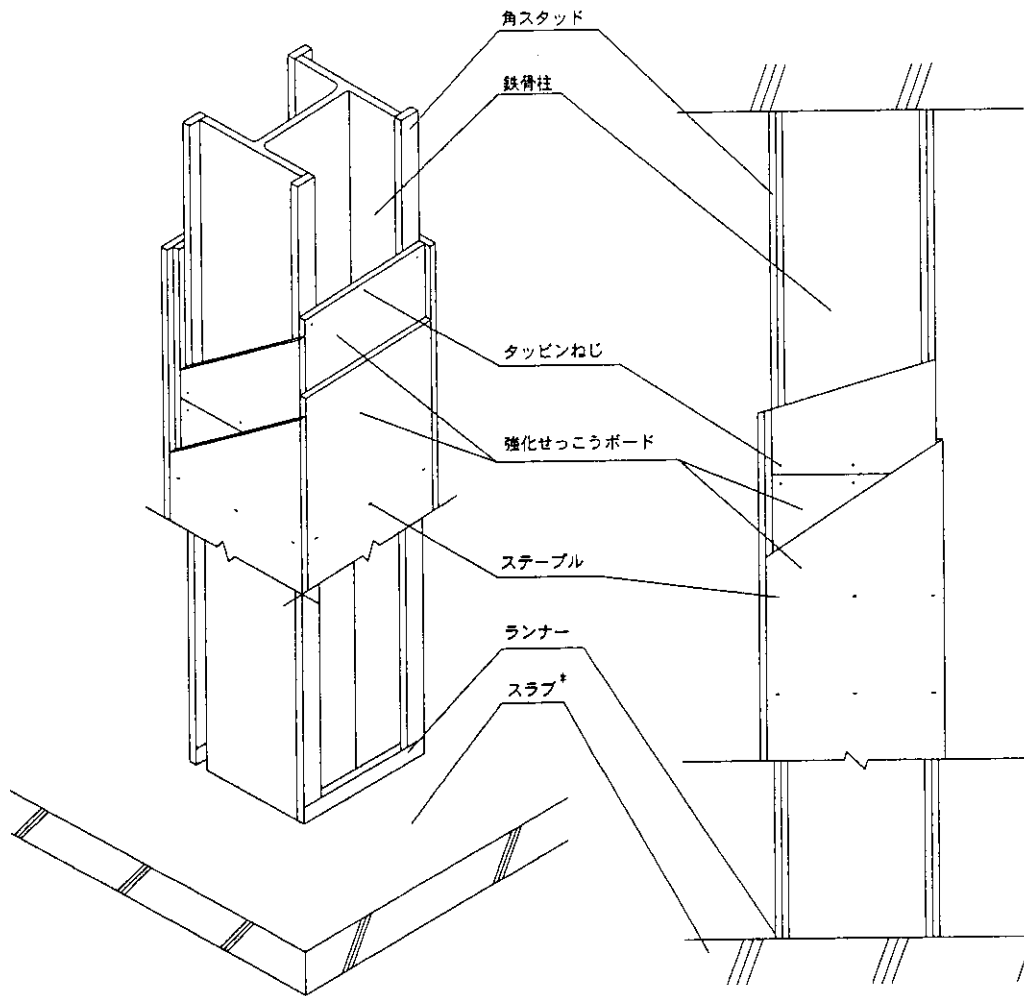


5. 標準施工方法等

標準施工図



- ・ スラブに取付けた上・下ランナーにスタッドを建てて施工する場合



* : 本評価内容には含まない。

<標準施工手順>

1) ボードの施工

①墨出し： ・現場施工図に合わせ、所定の位置に墨出しを行う。

②鋼製下地(柱隅部)の取付け：

・鋼製下地を鉄骨柱に取付ける場合

鋼製下地を鉄骨柱に直接又は取付金物を介して取付ける場合は溶接等にて取付ける。

・鋼製下地を上下スラブ間で支持する場合

スラブにランナーをバッファーピン、コンクリート釘等にて取付けた後、鋼製下地をランナーに取付ける。

③グラスウール又はロックウールの挿入：

・必要に応じてグラスウール又はロックウールを鉄骨柱にスピンドルピン等を用いて取付ける。

④強化せっこうボード等の取付け：

・Vカットなしの場合

下張強化せっこうボードを、所定の寸法に切断し、鋼製下地(柱隅部)及び取付金物に $\phi 3.5\text{mm} \times \ell 28\text{mm}$ 以上のタッピンねじで約200mmの間隔で留付ける。

上張強化せっこうボードは下張強化せっこうボードと横目地部が重ならないようにして、 $\phi 3.5\text{mm} \times \ell 50\text{mm}$ 以上のタッピンねじで約200mmの間隔で取付けるか、接着剤を点付けしステーブルで約200mm以内の間隔で留付ける。

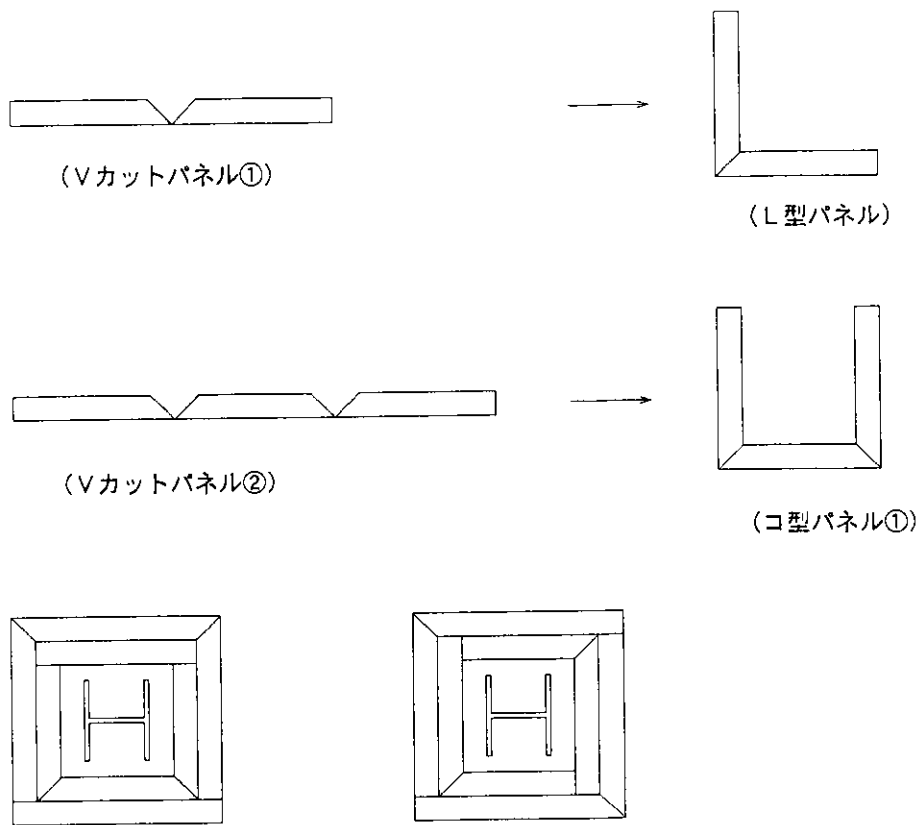
・Vカットありの場合

強化せっこうボードは所定の寸法に切断し、更に所定の位置にVカットした強化せっこうボードを、工場又は現場にて、L型又はコ型のパネルに成型する。

鋼製下地は予め鉄骨柱に取付けるか又はパネル成型時に折曲げ部内側に鋼製下地(柱隅部)を $\phi 3.5\text{mm} \times \ell 28\text{mm}$ 以上のタッピンねじで約200mmの間隔で留付ける。

上張強化せっこうボードパネルの取付けに関しては、上張強化せっこうボードを取付ける場合と同様の手順で行う。

<パネルの形状>



⑤目地部の処理

- ・目地部は、目地処理材にて平滑に仕上げる。